

コウベエキサイカイ

神戸掖済会病院





周辺図 ▶



神戸市の西部に位置する垂水区にあります
神戸掖済会病院です。
えきさいかいと読みます。
掖という字はてへんに夜と書きます。

【掖済】とは、腋に手を添えて助けるという意味があります。



公益社団法人 日本海員掖済会は、明治政府の要人らにより船員の為に設置された法人です。

神戸掖済会病院は、1914年11月に現在のハーバーランド（東川崎町）に設置された創立100年を超える病院です。

2001年に神戸市中央区から垂水区に移転し、2015年には兵庫県より『地域医療支援病院』名称使用の許可を頂いております。神戸市第二次救急病院協議会の輪番制に参加し、年間の救急車受入台数は約5,000台で、救急医療にも力を注いでいます。

病院概要

所在地：神戸市垂水区学が丘1丁目21番1号

標榜科目：内科・循環器内科・消化器内科・糖尿病内科・腎臓内科・呼吸器内科・脳神経内科・人工透析内科・リウマチ科・外科・消化器外科・乳腺外科・肛門外科・血管外科・外科（化学療法）・心臓血管外科・形成外科・整形外科・脳神経外科・皮膚科・泌尿器科・眼科・耳鼻いんこう科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科・救急科・病理診断科

病床数：325床

病棟：6病棟・ICU（8床）

掖済会関連施設

- 小樽病院 (154床)
- 宮城利府病院 (100床)
- 横浜病院 (165床) △えきさい横浜
- 名古屋病院 (662床) □埠頭診療所☆看護学校
- 大阪病院 (150床) △えきさい大阪
- 神戸病院 (325床)
- 門司病院 (245床)
- 長崎病院 (160床)



令和5年度 診療実績

外来患者延数 108,328名／年

外来1日平均患者数 445名／日

入院患者延べ数 94,849名／年

入院総患者数1日平均 259名

病床利用率 79.7%

救急患者数 10,691名／年

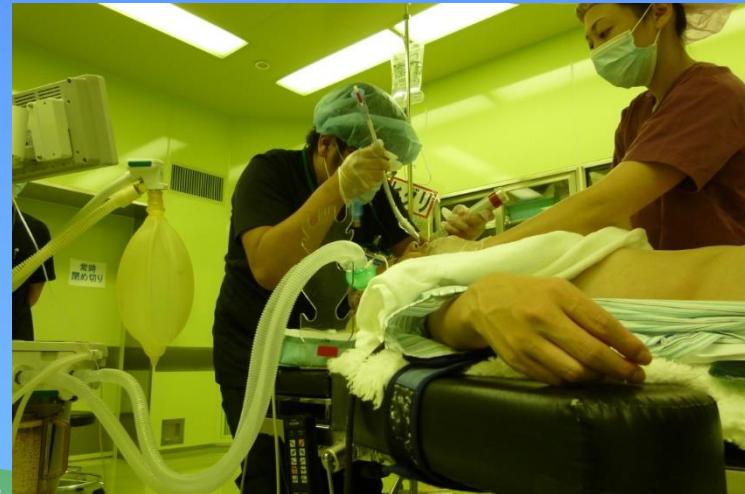
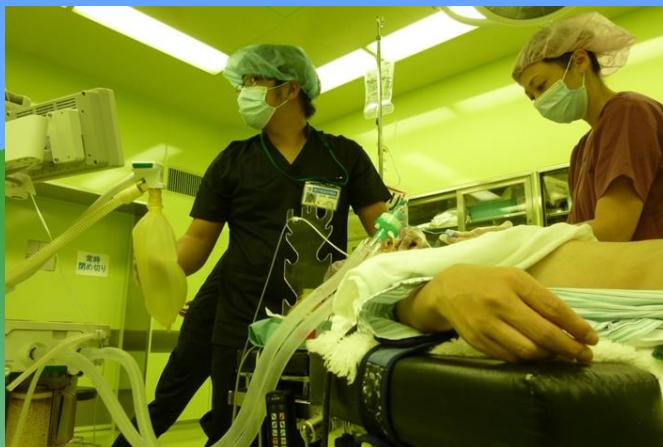
(内、救急車搬送患者 5,017／年)

手術件数 2,845例／年 (手術室使用分)

(内、全身麻酔件数 1,205例／年)

救急科研修（麻酔科含む）

- 救急科研修の3ヶ月を当院では、救急科及び麻酔科で研修します。
- 診療時間内の救急患者の初期対応を行い、様々な疾患及び手技を経験できます。
- 手術室で気管挿管を中心に経験できます。



内科

○内科では、循環器内科3ヶ月・一般内3ヶ月の6ヶ月です。

- ・循環器内科では、心疾患を中心に全身管理等を含めて学んで頂きます。
- ・一般内科では、糖尿病内科・脳神経内科・消化器内科等の基礎疾患を中心に学んで頂きます。

外科

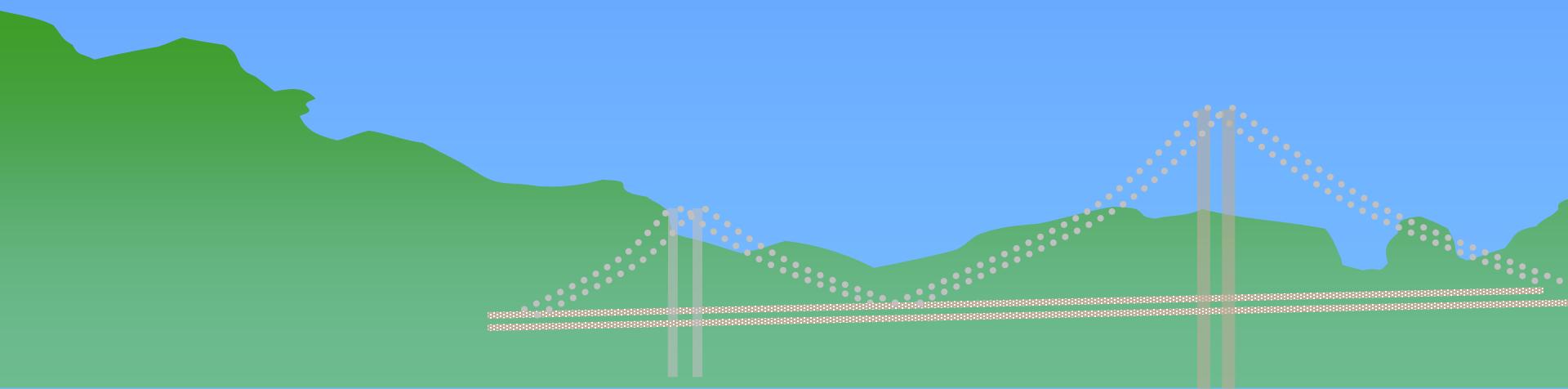
- 外科では、一般外科1ヶ月・整形外科又は脳神経外科2ヶ月を割り当てています。
- 一般外科は救急室にて、外傷を中心に初期診療を学んで頂きます。
- 整形外科では、骨折・関節置換術を中心に学んで頂きます。
- 脳神経外科では、脳疾患を中心に学んで頂きます。

地域医療

臨床研修の必修科目である「地域医療」では、垂水駅前にあります。

星島整形外科・リハビリテーションにて地域医療について研修して頂きます。

1日平均患者数200名を超える診療所です。

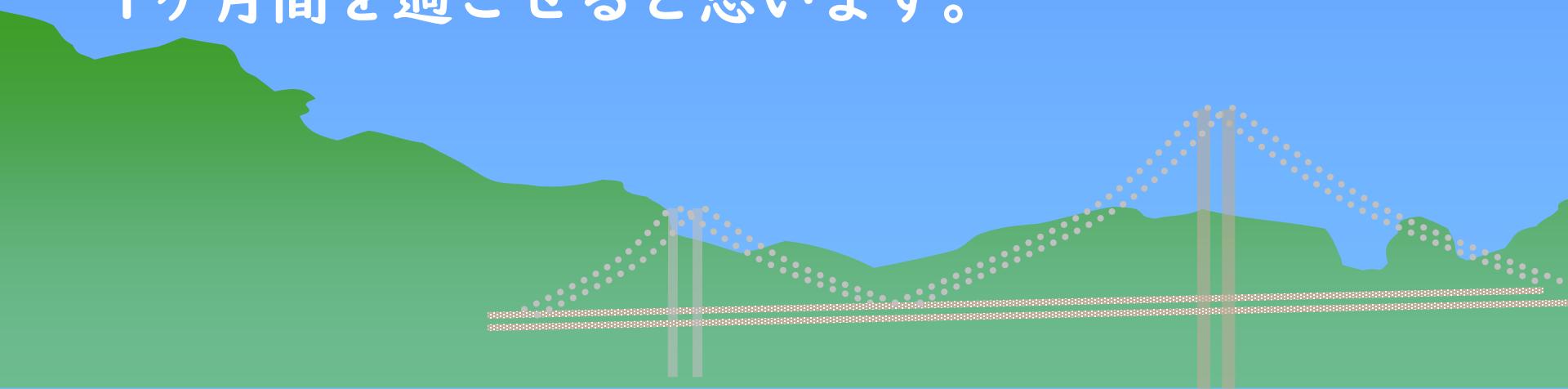


2年次救命救急センター研修

2年次に1ヶ月間の名古屋掖済会病院救命センターでの3次救急実習があります。

名古屋でも有数の3次救急施設で、1次から3次までの様々な疾患を経験できる環境があります。

又、名古屋病院には研修医が1学年につき10名以上いますので、情報交換の場としても有意義な1ヶ月間を過ごせると思います。



名古屋掖済会病院 救命救急センター（選択科目）

第3次救急

所在地： 名古屋市中川区松年町4-66

研修実施責任者：院長 北川 喜己

プログラム：救命救急センターにおいて、1次から3
次の救急患者の初期治療における適切な
初期対応能力の獲得を目指す。

病院概要

病床数：662床

特殊診療部門：救急救命センター・緩和・化学療法
センター・心臓血管センター

2年次の必修研修

- 救急科研修 : 名古屋掖済会病院救急救命センター
- 産婦人科研修 : 西神戸医療センター
- 小児科研修 : 神戸医療センター
- 精神科研修 : 湿川病院
- 地域医療研修 : 星島整形外科・リハビリテーション

残りの7ヶ月は選択研修として、内科・循環器内科・外科・整形外科・脳神経外科・皮膚科・泌尿器科・眼科・麻酔科・病理診断科・救急科の中から自由に選択できます。

当院での初期研修の特徴は、いくつかの制限はありますが、当直が予め病院から割り当てられるのでなく、自由であること。当直明けは、原則帰宅できる。

次に、CVカテーテル挿入等の様々な手技を数多く経験させてもらえる。

研修医 待遇

給与月額 1年次：320,000円
2年次：370,000円

賞与額 1年次：427,300円／年
2年次：925,000円／年

当直料 1年次：10,000円／1単位
2年次：20,000円／1単位

住宅手当 上限27,000円（当院規程による）

初期研修後の進路について

初期研修後の進路については、以下の通りです。

初期研修開始年度

2022年度・・・神戸大学医学部附属病院（皮膚科）、加古川中央市民病院（放射線科）、淡路医療センター（形成外科）

2021年度・・・神戸掖済会病院（整形外科、救急科・総合診療内科）、近畿大学医学部附属病院（皮膚科）

2020年度・・・兵庫県立こども病院（形成外科）、西宮市立中央病院（外科）、川崎病院（内科）

2019年度・・・神戸掖済会病院3名（救急科・総合診療科2名、脳神経外科1名）

2018年度・・・神戸掖済会病院1名（脳神経外科1名）、りんくう総合医療センター（形成外科）、神戸市立医療センター中央市民病院（麻酔科）

2017年度・・・産業医科大学病院（精神科）、広島大学医学部附属病院（眼科）

2016年度・・・大阪大学医学部附属病院（整形外科）、神戸大学医学部附属病院（乳腺外科）、明石市民病院（内科）

初期研修開始年度

- 2015年度・・・神戸大学医学部附属病院（皮膚科）、湊川病院（精神科）、大阪府立成人病センター（病理診断科）
- 2014年度・・・神戸大学医学部附属病院（皮膚科2名）
- 2013年度・・・神戸掖済会病院1名（脳神経外科1名）、神戸大学医学部附属病院（皮膚科）、市立加西病院（内科）
- 2012年度・・・小倉記念病院（泌尿器科）
- 2011年度・・・神戸掖済会病院（循環器内科）、神戸大学医学部附属病院（循環器内科）、大阪府済生会野江病院（内科）、阪南病院（精神科）
- 2010年度・・・神戸掖済会病院（外科）、兵庫県立加古川医療センター（救急救命センター）、北野病院（精神科）
- 2008年度・・・兵庫県立災害医療センター（救急科）、大阪大学医学部附属病院（循環器内科）
- 2007年度・・・明石医療センター（麻酔科）、神戸大学医学部附属病院（内科）

研修医出身大学

研修開始年度

2024年度・・・旭川医科大学・香川大学・兵庫医科大学

川崎医科大学（兵庫医科大学病院協力型病院プログラム）

2023年度・・・山口大学・大阪医科大学・産業医科大学

川崎医科大学（兵庫医科大学病院協力型病院プログラム）

2022年度・・・愛媛大学・鳥取大学・岩手医科大学

兵庫医科大学（兵庫医科大学協力型病院プログラム）

2021年度・・・岡山大学・琉球大学・大阪医科大学

岡山大学（兵庫医科大学協力型病院プログラム）

2020年度・・・大阪大学・大阪医科大学・兵庫医科大学

2019年度・・・徳島大学・大阪医科大学・近畿大学

2018年度・・・大阪市立大学・高知大学・産業医科大学

2017年度・・・産業医科大学・関西医大

2015年度・・・徳島大学・福岡大学・金沢医科大学

2014年度・・・神戸大学・産業医科大学・近畿大学

2013年度・・・徳島大学

2012年度・・・神戸大学・藤田保健衛生大学・金沢医科大学

2011年度・・・東邦大学

2009年度・・・神戸大学・山口大学・香川大学・大分大学

2008年度・・・徳島大学・山口大学・大阪医科大学

病院見学会について

○随時行っています。
病院見学希望の方は、下記までお問合せ下さい。

問合せ先

神戸掖済会病院 人事課まで

電話 078-781-3280 (直通)

メールアドレス

soumu3@kobe-ekisaikai.or.jp

初期臨床研修面接試験応募について

面接日：例年8月中旬予定

希望する日程がある場合は、ご相談下さい。

応募書類

- 1,履歴書（写真添付）
- 2,卒業見込証明書
- 3,成績証明書
- 4,健康診断書（大学で発行される物）

※応募書類に面接希望日を記入の上、例年7月31日までに人事課宛にご郵送下さい。